



## 「出水期」をご存じですか？ 水害への警戒が特に必要です！

太田川は6月1日から10月25日までを、小瀬川は6月16日から10月15日までを「出水期」と定めています。この期間は、梅雨前線や台風等にとまう大雨・暴風により、土石流やがけ崩れなどの災害が発生するおそれが高まるため、特に警戒が必要です。

太田川河川事務所では、災害を防ぐための取り組みを行っているよ！



点検終了後の打合せ状況



太田川放水路での出水期前点検の様子

### 梅雨・台風期に備えて、未然の水害防止 出水期前堤防点検を 実施しました

## 実施しました

太田川河川事務所では6月4日、梅雨や台風などの出水期に備えて、河川堤防等の「出水期前点検」を一斉に実施しました。

点検は、職員35名、防災エキスパート※5名の計40名で、太田川、旧太田川、天満川及び小瀬川の水防活動上重要な区間を対象に行いました。

点検の結果、重大な異常は確認されませんでした。軽微な異常を確認された箇所が42箇所ありました。確認された異常箇所については、継続的な変化を確認しながら計画的に保全していきます。

また、点検により得た情報は、今後の維持修繕等の河川管理資料として活用を図っていきます。

一人ひとりの災害に対する心構えや準備も大切じゃね！



※防災エキスパートとは、「阪神・淡路大震災」を教訓に、地震・風水害などの大規模災害時に、被災した公共施設等の被災情報の収集などをボランティアで行う専門知識を有する人たちです。

## 太田川・小瀬川水防連絡会

洪水、高潮等による災害の発生を防止、または被害を軽減するために、5月27日に太田川水防連絡会、5月28日に小瀬川水防連絡会を開催しました。各連絡会では、水防警報や洪水予報等の防災情報や重要水防箇所などの説明を行いました。連絡会終了後に災害情報協議会も開催し、「犠牲者ゼロ」に向けた災害情報の共有、防災情報の提供などについて話し合いました。



太田川・水防連絡会の様子

## 危険箇所の合同巡視

5月27日から6月11日にかけて、消防、警察、行政の防災担当職員等が参加して洪水時の危険箇所の合同巡視を行いました。なお、加計管内では、国土交通省と災害協定を結んでいる建設会社も参加し、堤防が決壊したとの想定のもと、備蓄資材の配置や緊急復旧工法の検討などを行いました。



重要水防箇所の巡視の様子

## 排水ポンプ車・照明車訓練

6月4日、広島市安佐北区の根谷川堤防で排水ポンプ車と照明車の操作訓練を実施しました。  
●排水ポンプ車／浸水発生時に現場に出動して、排水作業を行うための車両です。  
●照明車／災害発生時に夜間作業を行いやすしたり、危険箇所を監視するための車両です。



操作方法の説明を聞く参加者

## 太田川・小瀬川「安全利用点検」

4月28日、河川の利用が増加する5月の連休や夏休みを前に、警察、消防、水辺の楽校協議会等と連携して、「安全利用点検」を実施しました。点検の結果、必要な箇所に応急措置を行いました。その他、対策等の必要がある箇所には補修を行っていきます。



警察、消防など関係機関と連携して点検

※河川はもともと危険性を内包しています。河川の利用にあたっては、利用者自らも十分注意してご利用ください。

## 砂防えん堤の安全性点検

5月20日、広島市安佐南区相田、安佐南区高取、安佐北区可部、廿日市市宮園・四季が丘、大野町三鎗谷の国が作った砂防えん堤で、砂防施設の機能や安全性についての点検を実施しました。点検の結果、重大な危険や支障は認められませんでした。今後も定期的に点検を行い、施設の安全管理に努めていきます。



堆砂量や水抜き穴、コンクリートのひび割れなどを確認

出水期を前に、太田川河川事務所では、さまざまな取り組みを行っています！

## 管内災害対策訓練を実施

梅雨や台風等による風水害に備えて、「平成22年度中国地方整備局管内災害対策訓練」が6月7日に実施されました。

太田川河川事務所では、降雨・水位の情報や現場の被害情報を正確に収集、伝達する訓練を行うとともに、リエゾン<sup>※</sup>の派遣や高瀬堰、大芝水門への支援要員の派遣等の訓練も行い、全職員が本番さながらの緊張感で取り組みました。

地域の皆さんも、大雨や台風の際には防災情報に注意し、いざという時は迅速に避難できるように、日頃からの備えをお願いいたします。



緊張感が漂う訓練の様子

※リエゾンとは、県や市町に派遣され情報収集を行う要員です。

## 急な増水に気をつけて!!

7月1日〜7日は河川水難事故防止週間

近年、各地で局地的豪雨による急な増水が発生しています。広島市安佐南区を流れる古川では、平成20年8月に1時間で2mの水位上昇が起こりました。

山に黒い雲がかかったり、周辺で雨が降り始めたら急に水位が上がる危険性があります。橋の下で雨宿りせず、すぐに川から上がってください。自然のサインを見逃さず、安全に、楽しく川で遊びましょう。



10分後

静かな川があつという間に濁流に!

平成20年8月に古川で記録した水位上昇をもとにイメージした合成写真

古川(広島市安佐南区)



わあ〜こわい! 気をつけんといけんね

降雨や水位の情報は、こちらでチェック!

ホームページ  
「川の防災情報」

パソコン版URL

<http://www.river.go.jp/>

携帯版URL

<http://i.river.go.jp/>



# 知ろう、備えよう！私たちの身近で起こる土砂災害 土砂災害防止「全国の集い」を開催

平成22年6月9日、広島市文化交流会館において、国土交通省と広島県主催の「第二十八回 土砂災害防止「全国の集い」」が開催されました。

この集いは、土砂災害対策の必要性和今後の方向性について住民の理解と



広島市立伴小学校の児童による研究発表の様子

関心を深め、人命、財産の被害を最小限にすることを目的として開催され、1,400人以上の方が参加されました。

集いでは、土砂災害防止功労者の表彰や、パネリストとして海堀正博広島大学大学院准教授らを招いた、「三矢の訓で防ぐ土砂災害―立ち向かい、賢く住まい、躊躇せず避難する―」をテーマとしたシンポジウムなどが行われました。

シンポジウムでは、「平成11年6月29日豪雨」で土石流被害を体験した住民の談話や小学生による研究発表などをまじえながら、土砂災害の課題や対応について議論され、行政による正確で迅速な災害情報の伝達、情報マップなどを用いた危機に対する意識の向上などが課題として挙げられました。

翌日には、現地研修会があり、宮島庭園砂防と広島西部山系直轄砂防事業「宮園・四季が丘地区」を視察しました。



現地研修会にて、『宮園・四季が丘地区』を望む

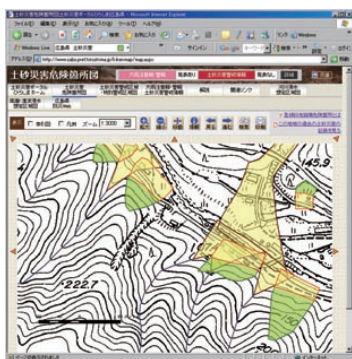


## INFORMATION

太田川河川事務所は、「全国の集い」に先立ち、土砂災害に関するアンケート調査を行いました。

アンケート回答によると、土砂災害はひとごとではないという当事者意識は高いが、土砂災害危険箇所の認知度は低いという結果が得られました。(Chumobizによる中国新聞広島版購読者を対象としたインターネット調査)

土砂災害危険箇所等の土砂災害に関する情報は、インターネットでも提供されています。ご自宅の状況を確認するとともに、身近な人たちにもお知らせ頂ければと思います。



土砂災害ポータルひろしま  
<http://www.sabo.pref.hiroshima.jp>



広島県土砂災害危険度情報  
<http://www.d-keikai.pref.hiroshima.lg.jp/>

# 発見!! 感動!! 中学生が職場体験学習を実施

5月17日から21日までの5日間、広島市立己斐上中学校3年の生徒2名が太田川河川事務所職場体験学習を行いました。



屋外での測量体験



事務所長との談話

参加した生徒は、学習のはじめに太田川河川事務所が担っている役割について説明を受けました。そして己斐出張所で担当エリアの河川巡視、測量作業、工事監督などの現地実習を体験し、太田川河川事務所では屋内で災害対応なども模擬体験しました。職場体験学習を終えた生徒は、太田川河川事務所が行っている仕事の必要性や、仕事に対する責任感などを学んだようです。事務所長との談話の中では「自分も将来、社会に役立つ仕事につきたい」という声も聞かれました。

## 学習を終えた生徒の感想文より

「日頃の河川巡視の必要性や重要性がわかった」  
 「工事をするときは正確に測量することが大切だと知った」  
 「堤防をついたり、川を管理したり、僕たちに危険を教えてくれたりしている太田川河川事務所の仕事がよくわかった」  
 「自分が思った以上に大変な仕事をやっているんだと思った」  
 「洪水予報は气象台だけが出しているのではなく、太田川河川事務所と共同で出していることを知って驚いた」



# みんなの憩いの場を、みんなできれいに!! おにほろ 「穂仁原子ども水辺」で 草刈り作業



職員によるゴミマップの説明



「穂仁原 子どもの水辺」での草刈り風景

5月30日、地元の皆さんによる「穂仁原小学校グラウンド」と「穂仁原子ども水辺」の草刈りが行われ、太田川河川事務所の職員も参加しました。

当日は好天に恵まれ、約70名の参加者が和気あいあいと楽しく作業を行いました。休憩時間には職員が小瀬川のゴミの不法投棄の現状について説明し、参加された皆さんから貴重な意見を聞くことができました。



「穂仁原小学校 グラウンド」の草刈り風景

「穂仁原 子どもの水辺」は、大竹市立穂仁原小学校近くに平成20年3月に完成し、伝統行事やひな流しや地域のイベント会場として、また水生生物調査など川への理解を深めるための環境学習の場として広く利用されています。これからも地域の共有財産として大切に利用されることを願っています。

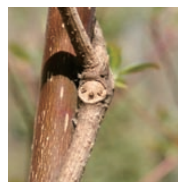
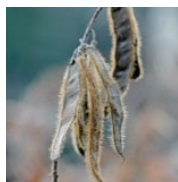
## 広島西部山系 植生図鑑

その5

種名 **クズ**

科名 マメ

タイプ 落葉ツル



開花と実のなる時期

花 実 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

夏から秋にかけて咲く紫色の花は、秋の七草として、万葉集に詠まれたほど美しいものです。また、クズの根を水にさらしてできた粉は「葛粉(くずこ)」とよばれ、葛餅(くずもち)、葛切り(くずぎり)などの原料になるなど、古くから私たちの生活に深くかかわってきました。ところが最近、新興住宅地のまわりの斜面などでツルを伸ばしてまたたくまに広がり、ちょっと困った植物と思われるようです。葉は3枚一組で、毛が生えています。

ホームページに「広島西部山系植生図鑑」を掲載しています。

太田川河川事務所

検索

